

【変更の事由及び時期を記載した書類（任意様式）】

## 児童学部児童学科の名称の変更について

### 1. 変更の事由

本学の児童学科は、昭和 24 年の大学開設時に学芸学部を設置され、昭和 29 年に教育職員免許法により幼稚園教諭の課程認定を得て、永きに亘り幼稚園教諭の養成に力を注いできた。

平成 13 年に人間科学部設置の際、学芸学部での約 50 年の教育実績を発展的に充実させ、より社会の要請に寄与することを目指し人間科学部児童学科を設置し、保育士養成施設の指定も受け、幼稚園教諭と保育士を養成する学科となった。さらに平成 19 年には、小学校教諭の課程認定を得て、幼児期から児童期の教育に携わる人材を養成する学科となり、平成 21 年にさらなる充実と一層の独自性を目指し、現在の児童学部児童学科を設置するに至った。

児童学部児童学科においては、幼稚園等から小学校の教員に必要な資質能力を確実に形成していくことができるように教育内容や教育指導を充実させ、人間の本質並びにその成長や発達について深く理解し、幼児や児童に対する教育愛や教育への責任感、「教科」、「領域」に関する専門的知識を有し、幅広い教養を備え、これらに基づく実践的指導力を習得し学校教育現場で活躍できる人材の養成を目指している。

一方、幼稚園等から小学校への接続については、小 1 プロブレムといわれるような課題もあり、連続した教育の重要性への認識も高まっており、幼児教育部会において「幼児期の終りまでに育ててほしい姿」として明らかにされ、双方の教員が共有化することにより、幼児教育と小学校教育の接続の一層の強化が図られることが期待されている。

本学部学科は、従前より幼児期から児童期の連続性を踏まえた教育の重要性の認識のもとに教育課程を編成しており、時代のニーズに合った現教育内容をより明確に示すため「児童教育学部・児童教育学科」に改めることとした。なお、名称変更前後の教育課程の変更はないが、思考力・判断力・表現力等の基礎としての幼児教育や、カリキュラム・マネジメント等も捉えながら指導内容の充実を図る。

環境変化が著しい中、教員養成に関し教職課程の質保証・向上のため教職課程を統括する組織の整備も促されており、本学部学科が中心となり大学全体の教職課程の質保証の取組みを総合的に進めていく計画である。

### 2. 変更の時期

平成 30 年 4 月 1 日

### 3. 設置者

学校法人樟蔭学園

### 4. 大学の名称

大阪樟蔭女子大学

### 5. 大学本部の位置

大阪府東大阪市菱屋西 4 丁目 2 番 2 号

6. 新設学部等の概要（名称変更の概要）

名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	開設時期及び 開設年次	所在地
児童教育学部 [Faculty of Childhood Education]  児童教育学科 [Department of Childhood Education]	4年	150人	—	600人	学士（児童 教育学）	平成30年4月 第1～4年次	大阪府東大阪 市菱屋西4丁 目2番2号